

子どもの予防接種

種類	対象者期間 (対象年齢を過ぎますと全額自己負担になってしまいます。)	標準的な接種時期 ※1	接種回数・間隔	1 カ 月	3 カ 月	6 カ 月	9 カ 月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	
BCG (結核)	1歳になる前日まで	生後5か月～8か月になる前日まで	1回	■																			
B型肝炎	1歳になる前日まで	生後2か月～9か月になる前日まで	2回目：1回目の接種から27日以上の間隔をおく。 3回目：1回目の接種から139日以上の間隔をおく。	■	■	■	■	■															
ヒブワクチン	2か月～5歳になる前日まで	2か月～7か月になる前日まで	最大4回 (接種時期により回数が異なります)		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
小児肺炎球菌ワクチン																							
四種混合 (DPT-IPV) 百日せき、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ	3か月～7歳6か月になる前日まで	初回：3か月～1歳になる前日まで 追加：初回3回接種が終了してから1年～1年6か月の間	初回：20日～56日をあけて3回 追加：初回3回接種が終了してから1年～1年6か月の間に1回		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
水痘 (みずぼうそう)	1歳～3歳になる前日まで	1回目：1歳～1歳3か月になる前日まで 2回目：1回目の接種から6か月～12か月の間	3か月以上の間隔を置いて2回					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
麻疹風しん混合 (MR)	1期：1歳～2歳になる前日まで	1歳になったら早めに受けましょう	1回					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	2期：小学校入学前の1年間	4歳になったら早めに受けましょう	1回										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
日本脳炎 ※2	1期初回：6か月～7歳6か月になる前日まで	1期初回：3歳～4歳になる前日まで	6日～28日間隔を置いて2回				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	1期追加：6か月～7歳6か月になる前日まで	1期追加：4歳～5歳になる前日まで	初回(2回)終了後、概ね1年後に1回																				
	2期：9歳～13歳になる前日まで	小学4年生相当	1回														■	■	■	■	■	■	
二種混合 (DT) ジフテリア・破傷風	11歳～13歳になる前日まで	小学6年生相当	1回																		■	■	
子宮頸がん予防ワクチン※3 (2価、4価ワクチンの2種類あります)	小学6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生相当	2価サーバリックス：3回 (2回目は1か月後、3回目は1回目から6か月後)																			■	■
			4価ガーダシル：3回 (2回目は2か月後、3回目は1回目から6か月後)																				■

※1 「標準的な接種年齢」とは、病気がかりやすい時期を考慮して、できるだけこの時期に受けることが望ましい年齢です。
 ※2 (1) 日本脳炎は平成17年から予防接種差控え期間があったため、平成11年4月2日～平成19年4月1日生で接種機会を逃した方は、20歳になるまでに、未接種分について、最大4回まで接種できます。
 ※ (2) 平成19年4月2日～平成21年10月1日生で7歳6か月になる前日までに1期(3回)の接種が終了していなかった場合は、残りの回数を9歳～13歳になる前日までに定期接種として接種することができます。
 ※3 子宮頸がん予防ワクチンについては、現在、市では積極的勧奨を行っておりません。定期接種として無料で接種することはできませんが、ワクチンの有効性と接種による副作用のリスクを十分に理解したうえで、受けるようにしてください。
 【予防接種は法令等で改正に変更することがあります。変更の際は広報等でお知らせいたします】